平成２４年度　地域活性化事業交付金　交付決定事業実績　【光が丘地区】

平成２５年3月３１日現在

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定年月日	交付金額(単位：円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
光が丘福祉の里づくり推進委員会	若者世代の地域活動への参加促進事業	当地区は６５歳以上の高齢者の割合が２４．５％と、市内でも１，２を争う高齢者率となっている。その中にあっても、毎年開催している「光が丘地区ふるさとまつり」に代表されるように、地域住民のつながりは極めて強く、そういうこともあって「福祉コミュニティ形成モデル事業」においては市内のトップをきって実施された経緯もある。しかしながら、このコミュニティの持つ強みも、次の世代に引き継がれていかなければ、益々進行していく高齢地域の将来が危ぶまれる。 そこで、継続的に若者世代が地域の活動に参加することを促進しようというのがこの事業の目的である。	地域事業活動への若者世代のボランティア参加を推進。対象事業数：14。事業への対象者参加総数：251人。各事業での内訳は下記。 <1>市民桜まつり(4月 42人)　<2>車いすペタンク講習会春(4月 4人)　<3>子育てホットサロン(7月 6人)　<4>ふるさとまつり(8月 23人)　<5>夏休み工作教室(8月 6人)　<6>セミワールドフェスティバル(10月 34名)　<7>車いすペタンク講習会秋(10月 10人)　<8>お年寄りのつどい(10月 8名)　<9>キャンプ淵野辺留保地清掃(10月 18人)　<10>わが町フェスタ(11月 63名)　<11>こどもまつり(12月 5人)　<12>光が丘ドキドキ村(2月 7名)　<13>陽光台公民館まつり(3月　12人)　<14>光が丘公民館まつり(3月 13人)	①地域活動参加者が、高齢者中心から、近隣の学校や地域内の若者も参加するようになって世代層が広がり、地域事業が活気あるものになっている。 ②参加生徒の募集に対し、学校側も積極的に取組んでいただけ、地域と学校の連携がより密接になった。 ③在学中に活動した若者が卒業後も地域活動へ参加し、若者世代と地域社会のつながりが強まっている。また若者代が参加する土壌づくりが進んでいる。	①地道に各学校との連携を深めてきたことで、平成22年度の本事業スタート以来参加者が増え続け、今年度は年間のべ人数で250名を超える若者が地域活動に参加しており、ほぼねらい通りの成果を出せた。 ②この成果を得て教育実践研究論文を執筆することができた。	H24.6.1	592,000
さがみパークゴルフ愛好会	パークゴルフ普及活動推進事業	パークゴルフは、ルールが簡単で身体にも負担をかけない運動であるため、世代を問わず楽しめるスポーツである。このパークゴルフを地域に普及することにより、高齢者の健康増進や世代間交流の促進など、様々な地域課題の解決の一助とする。	パークゴルフを通じて、地域の健康づくりとコミュニテュイづくりを進めるため、次の事業を実施した。 ･地区内の行事への協力　4回 ･体験教室の開催　１４回 ･会議の開催　２７回 ･指導者研修会　３２回	光が丘地区の行事へ協力することにより、幅広い世代へパークゴルフを体験していただくことができた。 今年度は、新たに相模原市社会福祉事業団との連携が図られたことにより、より幅広い層への普及が進んだ。 こうした取り組みを進めた結果、より多くの方にパークゴルフの魅力を伝えることができた。	パークゴルフを通じて、地域団体との連携を深めることができた。 また、地区内の競技人口も着実に増加しており、地域住民の健康増進と仲間づくりに貢献できたと考えている。	H24.6.1	334,000
光が丘わが町フェスタ実行委員会	光が丘わが町フェスタ	公園という多くの人が集まる場で、地域団体のＰＲや来園者との交流を図ることにより、新たな活動の担い手の発掘、今後のまちづくりに活かせる情報の収集、地域団体間のネットワークの強化などを促進する。	サーティーフォー相模原球場、銀河アリーナ、松が丘園で次の事業を実施した。 ･地域活動団体ＰＲコーナー、ステージ発表、模擬店の設置 ･親子スケート教室の開催 ･冒険遊び場の設置 ･各種遊具の設置	光が丘地区で活動する公共的な団体が協働して、ひとつの事業に取り組んだことで、団体間のつながりが深まった。 内容の改善を図りつつ事業を拡大できたことは、今後の光が丘地区のまちづくりを考える上でも、大きな収穫であった。 また、参加団体の活動事例紹介やアンケート調査を実施したことにより、一般来場者にも、少なからず、地域活動に関心を持っていただけたと考えている。	雨天のため、直前に大きなレイアウト変更を余儀なくされ、主催者としても、不安を抱えながらの開催となったが、過去2回のフェスタで培った「絆」により、大きな混乱もなく成功裏に事業を実施することができた。 これは、このフェスタを一過性のイベントと捉えず、各団体が連携を図りながら準備を進める過程を重視し、人づくり、絆づくりを行ってきたことの成果であると自負している。	H24.6.1	2,000,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定年月日	交付金額(単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
光が丘地区防災委員会	光が丘地区地域防災推進事業	自分たちのまちは自分たちで守るという考えのもと、防災意識の普及啓発を図るとともに、大規模災害時における初期消火の体制を整えることにより、地域の防災力を高め「安全・安心なまち光が丘」を実現すること。	自主防災隊による初期消火活動を支援するため、次の事業を実施した。 東京都墨田区での視察研修　1回 研修及び活動結果の発表　各1回 防災訓練等の支援　2回 会議開催　3回	今年度は、区民による初期消火活動が行われている墨田区の状況を視察した。墨田区の区民消火隊の活動は、歴史もあり本市と比較することはできない部分もあるが、その取り組みについては、参考になる点が多くあった。 こうした視察の結果などを踏まえ、訓練の拡充を図るとともに行政との連携を深めながら活動をすることで、地域防災の体制を強化することができた。	今年度は、区民による初期消火活動が行われている墨田区の状況を視察した。墨田区の区民消火隊の活動は、歴史もあり本市と比較することはできない部分もあるが、その取り組みについては、参考になる点が多くあった。 こうした視察の結果などを踏まえ、訓練の拡充を図るとともに行政との連携を深めながら活動をすることで、地域防災の体制を強化することができた。	H24.9.3	74,000
							3,000,000